向日葵

第87号
愛知県立豊田高等特別支援学校
〒473-0906
豊田市竹町栄21－1
TEL(0565)54－0011

『子育てに思うこと』

教頭　田中　裕美

幼い頃、私の家は小さな兼業農家でした。機械化も進んでいなく、子どもの力も労働力として貴重でした。そのため、ゴールデンウィークは田植え、夏休みには稲刈りが我が家の定例でした。

小学校の五年生だったと思います。日曜日に、田植えの準備で畦の草刈りを父と行うことになりました。田んぼの仕事をすることは幼心にも嫌で、私の気持ちは沈んでいました。

畦の北と南から父と二人で草を刈り始めました。「休みの日、友達は遊んでいるだろうに、どうして私はこんなことをしなくちゃいけないんだろう。」そんなことを考えていると、だんだんいらいらしてきて、「あっ。」と思ったときには、草刈り鎌は私の親指を切って、赤い血がどくどくと流れ始めました。

「お父さん、手切った！」と父に救いを求めたとき、心の中では「これで家に帰れる。もしかしたら、もう来なくてよくなるかもしれない。」と密かに思っていました。ところが、流れ出る血を見て父は、持っていた日本手ぬぐいを手際よく裂くと、私の指に巻き付けて、「すぐに血は止まるから、頑張って最後までやれ！」と一言。さっさと草刈りに戻っていきました。

「え～～っ、ひどい。」がっくりした気持ちを引きずり草刈りを再開しました。そのうち、ずきずき痛む指先の血はだんだん止まり、にじんだ血は赤茶色になっていきました。覚悟を決めて黙々と草刈りを続け、気がつくと遠くに見えていた父は間近に近づいていました。最後の草を刈り取ったとき、父が掛けてくれた「本当によく頑張ったなぁ。」の言葉。そのときの嬉しさ、頑張り抜いた自分への誇り、仕事をなしえた爽快感、達成感、見守っていてくれた父への信頼、心の中に色々な思いが渦巻いていました。

今、自分が親になり、子育ての難しさを感じます。大掃除や庭仕事でも、親と一緒に仕事をする機会は少なく、親も働く姿を子どもに見せることはあまりありません。また、世の中の価値観も多様化して、更に、ＳＮＳ等の発達により子どもの生活も親から見えにくくなってきています。同じ家に住んでいても、お互いの関係が希薄になっている場合もあると思います。

しかし、だからこそ、子どもの姿を見失わないように、子どもたちの言葉に耳を傾けて欲しいと思います。大人として扱う部分と、まだまだしっかりと見守らないといけない部分が混在しているのが高校時代です。この時代に、しっかり親子の信頼関係を築くことが、社会に出てから困難にぶつかったとき、悩みを打ち明け問題を一緒に解決する基本となると思います。

学校で精一杯頑張ってきたら、褒めてあげてください、落ち込んで帰ってきたら、励ましてあげてください。そして、いつも味方だよと伝えてあげてください。

コラム

「バンドの話」

熊澤　剛

皆さんはバンドを組んだことがありますか？

「バンド」というと、髪の毛を逆立てて革ジャンを着た攻撃的なロックバンドを思い浮かべる方も多いと思いますが、それは極端なイメージで、オーケストラ、はたまたチンドン屋でも立派なバンドです。仮に格好が奇抜だとしても、みんなで一つの曲を合奏しようというのですから、根は平和な心の持ち主が多いと思います。

私もバンドをやっていますが、まさにチンドン屋を大きくしたようなバンドで、楽器を持っている人だけでなく、ムード作りの人も含めると十人以上になります。パフォーマンスと称してステージでおにぎりを食べるメンバーもいます。なんでもありの、いい加減なバンドですが、結成当初は苦労もありました。

メンバーが多いので、世界観を守りながら曲のアレンジをしていくのが大変です。山ほどアイデアを出しては、全部取りやめることもあり、生みの苦しみを味わいました。ですが、「趣味は仲良く、こだわらず、適度にやればいい。」とは今でも思えません。そういう時代を経て十数年、今や血肉と化した曲を演奏するとき、永遠に終わらないバンドであることを確信できるのです。

体育祭

十月十七日

前日までの雨予報が嘘のような日差しの強い秋晴れの下、体育祭が行われました。多くの御来賓、保護者の皆様方の温かい声援をいただき、各団の士気も高まった中での開会式となりました。

一年生の「新、心、信」では、高難度な技を披露した組体操、長縄跳びでは、各クラスが新記録を目指しました。二年生の「洗濯物リレー」では、洗濯物を干した竿を持って全力で駆け抜け、最後まで勝敗の分からない熱い戦いとなりました。三年生の「各組対抗バトン選択リレー」では、職業種目で作った製品をバトンにしたユニークなリレーで大いに盛り上がりました。

優勝を目指して全力で取り組む生徒たちの生き生きとした表情が印象的な素晴らしい体育祭となりました。

体育祭を終えて　　一年　大野　亮斗

僕は、今年の体育祭を通して、つらいこと、悔しいこと、嬉しいことをたくさん経験することができました。競技では自分の仲間と助け合って「組体操＆長縄」を行い、応援では黄組の頑張っている選手に大きな声で声援を送ることにより、競技、応援ともに優勝することができて、僕にとっては、最高の体育祭となりました。そして、体育祭の一日を楽しむことができて嬉しかったです。

これからの学校生活でつらいとき、困っている人がいるとき、お互いに励まし合い、助け合いたいと思います。

文化祭への思い　　三年　浅井　俊哉

僕は、この文化祭で悔いが残らないようにしようと思い、当日を迎えました。練習では、せりふを覚えることや感情を込めることが難しく、何度も練習をしました。それでもなかなかうまくできず、落ち込むことがありましたが、いろいろな先生や友達にアドバイスをもらい、少しずつできるようになっていきました。

いよいよ本番になり、心配でしたがうまくはっきりと大きな声でできたと思います。最後の文化祭で役を演じ切ることができて、本当によかったです。

文化祭

十月三日

今年の文化祭は、「輝け、未来への扉　～扉を開けるのは自分自身～」をテーマに、舞台、企画発表が行われました。一年生の舞台発表では「サウンド　オブ　ミュージック」のミュージカルを演じました。二年生はドラえもん改め、トヨえもんと仲間たちが今を頑張って未来をつかむ物語をコミカルな劇と歌で表現しました。三年生は修学旅行での経験を通して「はだしのゲン」をもとに戦争の悲痛さ、今を生きる喜び、さまざまな思いを群読で届けました。

企画発表では、一年生は「Let's go! 豊田高等祭」、二年生は「LOVE LOVE LOVE～楽しむときは今～」をテーマに、ゲームやアトラクション、中庭でのダンスではお客さんと一緒に大いに盛り上がりました。どの学年の舞台、企画も生徒たちの創意と工夫あふれる発表となりました。

ふれあい広場

地域交流（芋掘り）

三年　中西　裕大

竜神こども園の五才の子ども達が本校に来てくれました。

芋を掘るときに気をつけたのは、幼い子どもの手をけがさせないようにということです。けがなく芋が掘れてよかったです。今年は芋が少なく、小さかったので、たくさん取ることができませんでした。

五才の子どもが「小さい芋が取れた。」とうれしそうに芋を見せてくれました。僕は、「おー、取れたね。」と返事をしました。喜ぶ顔を見て、少しでも取れてよかったなあと思いました。

美化活動

二年　小栗　大和

僕は、ボランティアや地域交流の場となっている公益財団法人「あすて」でクラスのみんなと協力して、きれいに掃除をしました。一番頑張ったのは、草取りです。だいぶ生えていたので大変でしたが、終わった後「きれいになったな」と思いました。やりがいのある作業でした。

掃除後は、体育館で『綾』という太鼓組のみなさんが、太鼓の演奏をしてくれました。とても迫力があり、かっこよかったです。また、みんなで太鼓をたたいたりソーラン節を踊ったりしました。とてもいい思い出になりました。

竜神ふれあい祭り

三年　大村　郁斗

最初は製品頒布をしました。お客さんに向かって、製品を見せてアピールしたり、聞かれたことに答えたりして頑張りました。美化係では、ゴミを受け取ったり説明したりして、クラスのみんなと協力しながらできました。休憩のときには、いろいろお店を回ったり、友達と食べたりしたことが楽しかったです。休憩は楽しんで、製品頒布や美化係は真剣にやって、気持ちを切り替えることができました。

一番うれしかったことは、学校から持って行った製品が完売したことです。みんなで声掛けをして頑張ったことが、成果につながり、やりがいを感じました。来年のために、残りの学校生活で、よい製品を作っていきたいです。

魅力発見フェスタ 2015に参加しました！

豊田市の高等学校の魅力を、豊田市内の中学生に発信する場として、『魅力発見フェスタ2015』が、十月末に豊田市スカイホールで行われました。

当日は、六千人もの来場者がありました。本校は、学校紹介や製品頒布を通して、本校の魅力を伝えることができ、製品の質の良さにお褒めの言葉も多くの方からいただきました。また、ステージでは、本校音楽部が演奏を披露し、大変盛り上がりました。

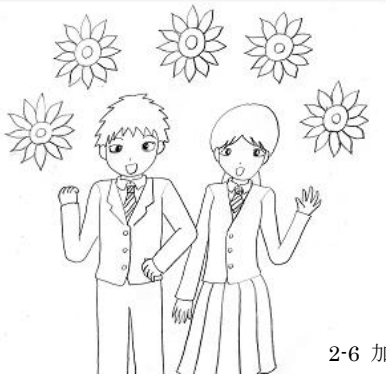
三年　松崎　龍真

とても人が多くて、緊張しましたが、「よかったら見ていってください！」と頑張って呼び込みをしました。中学生が製品を買ってくれたときは、うれしかったです。

（音楽部）

一年　長野　知奈

発表は、ものすごく緊張しました。でも、『威風堂々』では、よい演奏ができたと思います。嵐の『ＧＵＴＳ！』も、笑顔で楽しく演奏できてよかったです。



2-6 加藤 桃子

学校評価

本年度の学校の重点目標は、生徒自身が自己理解を深め、社会に出て豊かに生きていける力を身につけられるように、授業実践の充実、生徒の主体的な活動の促進、教職員の研修の充実、社会的規範意識、安全意識を高めることであり、より良い学校を目指して取り組んでいます。

第一回の学校評議員会・学校関係者評価委員会では、各校務分掌から今年度の取組の具体策を提示しました。

学校評議員の方々からは、「子どもたちのために、家庭、地域、学校が連携することが大切である。」「挨拶をきちんとするなど人と関わる力を育てることが必要だ。」「マナーの指導も引き続きしっかりと行ってほしい。」等の御教示をいただきました。

前期が終わり、半年間の取組の実践と成果、後期に向けての改善策を学校評議員の方に御報告しました。

今後も、生徒の個性を尊重し、社会自立、職業自立を目指す教育を推し進めて、生徒が生き生きと活動する活気あふれる学校、社会から期待される学校を目指していく考えです。

2-4
稲垣　和馬

寄宿舎

今年度は、男子十名女子三名の計十三名の新入舎生を迎えスタートを切りました。

毎年のことですが、入舎当初は家が恋しくて、毎日家に電話をしている姿も多く見られましたが、今では寄宿舎での生活にも慣れ、周りの舎生たちと楽しく生活できるようになってきました。

寄宿舎での行事については、舎生自らも企画し運営にも携わっています。

中でも、七月十四日に行われた寄宿舎最大の行事『納涼会』では、多くの地域の方々にも参加していただき、盆踊りやイベント等で交流を深め、盛大に終わることができました。

特に、今年はダンスクラブの舎生たちが、オープニングダンスをはじめ、舞台でのダンスの披露などに精力的に取り組んでくれました。当日までの練習も汗だくになりながら熱く取り組んでくれていました。また、衣装にもこだわりをみせ、当日は観ていた方たちの感動と爆笑を呼びました。自分たちで作りあげる大切さと楽しさを感じることのできたイベントになったことと思います。

今後も、舎生の自立を支援し、楽しく前向きに生活できる環境作りを目指して、日々舎生たちと話し合いながら進めていきます。

後期生徒会役員

会　長　井上　拓海（二―四）
副会長　山口　将典（二―四）
　　池之上　楓（一―二）
書　記　森田　英士（一―三）
会　計　平生　楓（一―三）

大会・入賞結果

○愛ぴっく陸上競技大会（三位以上）

「ソフトボール投げ」
第一位　大西　暉人　八〇ｍ七五（**大会新記録**）
第二位　小松　元　七二ｍ九〇
「一〇〇ｍ女子」
第二位　水越　唯　一五秒一四
「一〇〇〇ｍ女子」
第二位　山下　明日香　三分二七秒八二
「四〇〇ｍリレー女子」
第二位　豊田高等特別支援学校　六一秒六〇

○全国障害者スポーツ大会

卓球（一般卓球）
第二位　髙橋　良輔
第三位　川端　賢輝
ボウリング（少年男子三組）
第六位　近藤　涼太
水泳（二五ｍ、五〇ｍ自由形）
第七位　鷹羽　佑輔
女子バスケットボール（トーナメント戦）
第三位　水越　唯（県選抜）
　　加藤　桃子（県選抜）

今後の予定

12月8日(火)　持久走大会、授業参観日
　　ＰＴＡがやがや会
12月10日(木)　人権に関する指導
12月19日(土)
　愛ぴっくフットベースボール大会
　第37回愛知県障害者技能競技大会
12月24日(木)
　愛ぴっくバスケットボール大会
12月24日(木)～1月6日(水)
　冬季休業日
1月7日(木)　授業開始日、朝会
1月9日(土)
　卒業生の体験談を聞く会
　進路相談(2年)
1月12日(火)　振替休業日
1月21日(木)　学校保健集会
　　学校保健委員会
1月27日(水)　会社見学(1年)
2月2日(火)　家庭学習日(午後)
2月3日(水)　入学者選考(家庭学習)
2月7日(日)　漢字検定（希望者）
2月13日(土)　愛ぴっくサッカー大会
2月18日(木)　授業参観日、PTA講演会
2月26日(金)　卒業生を送る会
3月1日(火)　卒業証書授与式